

JSQC ニュース

CONTENTS

- 1-トピックス ニュース400号について
2-私の提言 学校に行こう! ~企業の小中学校との関係づくり~
3-宮川雅巳氏・本学会会長 今年度日本統計学会賞を受賞
3-徳内雅彦氏・本学会元会長 デミング賞本賞を受賞
3-デミング賞受賞一覧/2022年9月の入会者紹介
4-行事案内/各賞表彰/会員登録情報 更新のお願い/教員公募

発行 一般社団法人 日本品質管理学会
東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内
電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
ホームページ:www.jsqc.org/

ニュース400号について

今号は、記念すべき400号です。1年間に8本のニュースを発行していることから、単純計算で丸50年になります。実際には1971年8月が第1号ですから、丸51年経過しています。「品質」誌の第1号(Vol.1, No.1)が、昭和46年(1971年)9月15日に発行されていますので、ニュースは「品質」

誌にわずかばかり先駆けて、今日まで、学会の足並み共に、品質や学会に関する様々な情報を発信してきました。51年という長い年月の間に、ニュースは変化してきたかと思えますが、記事をご執筆された方々の品質にかける思いは、今も昔も変わらないのではないかと思います。

学会誌編集委員会 委員長 安井 清一

第400号のトピックスはニュース第1号を用意しました。さあ、この節目のときに、日本品質管理学会の原点を振り返り、これからの品質を考えていきましょう。

JSQCニュース

https://jsqc.org/jsqcnewstop/

1971年8月 JSQCニュース No.1

JSQC ニュース 1971年8月 NO.1
発行 日本品質管理学会 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟内 電話 03(5378)1506

第1回日本品質管理学会総会開催
本学会は、品質管理の発展を促すため、1971年8月24日、おがき町本会館で第1回総会を開催しました。

第1回日本品質管理学会総会開催
各委員会の活動
編集委員会
企画委員会
総務委員会
研究開発委員会

昭和46年8月 JSQCニュース No.1

JSQCの発展
発行にあたって
編集長 石川 馨
本学会は、品質管理の発展を促すため、1971年8月24日、おがき町本会館で第1回総会を開催しました。

ASQC年次大会に出席して
日本調音 今泉正広
1971年5月19日から21日、米国Illinois州のChicagoのConrad Hilton HotelでASQC (American Society for Quality Control)の年次大会(Silver Anniversary) Annual Technical Conferenceが開催されました。

2022年11月 JSQCニュース No.1

シンガポールのQC活動
玉川大学教授 三浦 新
今年8月A/Pの計画として、オランダから日本へ出張されたJ.A. Atrens氏を招き、シンガポールで、8月5日から13日までQCセミナーを開催しました。

シンガポールのQC活動
玉川大学教授 三浦 新
シンガポールは東南アジアの発展を遂げ、工業化が進んでいる。また、1970年代には自動車産業が盛んになり、品質管理の重要性が認識され、QC活動が盛んに行われている。

● 私の提言 ●

学校に行こう！ ～企業の小中学校との関係づくり～

(株)デンソー 中村 浩一



北海道網走市に在るグループ会社出向時代（2015年前後）を思い出し、最近学校に行っていない

自分へのリマインドとして提言します。当時、私は網走市で自動運転技術の実車評価環境整備を進めておりましたが、グループ会社の取締役として初めて総務を担当し、地域貢献活動を当事者として真剣に考える機会を得ました。

網走市では人口減少対策が喫緊の課題となっており、企業や大学誘致などいろいろと努力をされていました。私としては人口が減少する中で、今いる子供たちは益々貴重な人材となること

は間違いないので、子供にフォーカスした企画が何かできないか考えるようになり、子供たちへの企業PRを検討する中で、小中学校への教育無償支援にたどり着きました。

実はその時に、オープンスクール授業参観、公開研究会などは、誰もが参加でき、思ったより学校は開かれています。地域との連携強化を模索していることを初めて知りました。特に中学校は職場体験学習の受入先の新規開拓にご苦労されていました。そこで、学校のニーズを確認しながら、「金属加工教室」、「車の故障診断」、「林業機械体験」など、様々な企画をTQMの精神で実行しました。子供の反応はわかりやすく、アンケートで、「めっちゃ楽しかった」、「また来ていいですか?」、「感動しました」のようなストレート

なコメントをいただき、私だけでなく関わった社員全員が大変やりがいを感じ、自己の成長にも繋がりました。

現在、私は愛知県に戻って品質管理に従事しております。コロナ禍もありますが、CSR活動は総務部の仕事として、いつの間にか学校に行かなくなりました。子供たちを勤労意欲のある人材に育てるという観点から、QC手法やQCサークルで問題解決した時の嬉しさとか失敗事例を通じた標準化の大切さとか、子供たちに伝えるべきことはたくさんあります。答えは現場にあるとよく言いますが、東京も人口減少に転じた今、日本で最も重要視すべき現場は小中学校ではないかと考えます。企業は高等学校、大学とは採用あるいは研究連携面で接点があるものの、小中学校への関与は少なすぎるように感じます。学校公開のやり方は地域によって様々なようですが、コロナ禍を脱すれば学校へ行きやすくなると思います。私は地元の小中学校に行つて何か貢献できないか答えに繋がるヒントを探索してきます。

宮川 雅巳氏・本学会会員 今年度日本統計学会賞を受賞

東京工業大学名誉教授の宮川雅巳氏が今年度の日本統計学会賞を受賞されました。同氏は、東京工業大学で眞壁肇教授の指導を受け、東京工業大学助手、東京理科大学講師・助教授、東京大学助教授、東京工業大学助教授・



教授を歴任され、本年3月に東京工業大学を定年退職されました。

日本統計学会賞は「統計学の研究および普及に対して貢献した個人に対して授与し、その功績を顕彰するため」に設けられました。同賞は、統計学の学術研究において、日本で最も権威ある賞と認識されています。

宮川氏の専門分野は多岐にわたっていますが、特に、信頼性工学・品質工学・因果推論の分野で精力的に優れた論文や著書を発表してこられました。『品質を獲得する技術』（日科技連出版社）では品質工学を理論的に定式化して深い解説をされています。『グラフィカルモデリング』（朝倉書店）はこの分野でわが国最初の

書籍です。受賞理由には「宮川雅巳氏は、統計的品質管理を中心とする応用統計学分野において、第一線で活躍する研究者である。グラフィカルモデリングおよび構造的因果モデルの方法論研究に関しては日本国内のパイオニアとして、品質管理学・応用統計学をけん引してきた。」と述べられています。

2022年9月6日の受賞記念講演会では「タグチメソッドに魅せられて」というタイトルの講演が行われました。ちなみに、田口玄一氏は日本統計学会賞の第1回（1996年）の受賞者です。

宮川雅巳先生、この度は誠にありがとうございました。

棟近 雅彦氏・本学会元会長 今年度デミング賞本賞を受賞

本学会の会長（第48—49年度）を務められた棟近雅彦氏が今年度のデミング賞本賞を受賞されました。同賞は、個人に贈られる品質管理分野の世界最高峰の賞です。

棟近氏は、東京大学で久米均教授



の指導を受け、東京大学助手、早稲田大学講師・助教授を歴任され、現在早稲田大学の教授をされています。

同氏は、多くの若手研究者・実践者を育成するとともに、日本品質管理学会会長、日本適合性認定協会技術委員会委員長、ISO/TC176日本代表、日本規格協会品質管理と標準化セミナー学長等の要職を歴任し、TQMの発展に貢献してこられました。

同氏は、医療分野でのTQMモデル及び災害対応マネジメントシステムモデルの実践的研究開発と普及プロジェクトを通じた、TQMの理論発展とわが国の医療組織の品質・安全能力向上に貢献されました。また、ISO品質マネジメントシステム規格の改

訂・認証制度の啓発、日本品質管理学会会長としての品質不祥事対応・新部会立ち上げ等幅広い活動をリーダーとしてけん引されてきました。

さらに、上記活動を通じた大学におけるTQM教育・研究基盤のプレゼンス向上、産学に必要な教材開発を通じて、多方面に及ぶTQM活動・研究の担い手層を育成し、TQMの発展に対して貢献されました。

棟近雅彦先生、この度は誠にありがとうございました。



デミング賞委員会（委員長 十倉 雅和）において、2022年度のデミング賞本賞、デミング賞各賞、日経品質管理文献賞の受賞者が決定し、授賞式は11月14日経団連会館にて執り行われました。

1. デミング賞本賞

棟近 雅彦 氏 早稲田大学 理工学術院 教授
創造理工学部経営システム工学科
創造理工学研究科経営デザイン専攻

2. デミング賞普及・推進功労賞（海外）

Mr. L. Ganesh（インド） Chairman, Rane Group

3. デミング賞

株式会社麻生 飯塚病院（福岡県飯塚市）
Apollo Tyres Limited, Chennai Plant（インド）
科特拉（無錫）汽車環保科技有限公司（中国）

4. 日経品質管理文献賞（文献名五十音順）

(1)「企業存在価値の創造 品質経営

—百年企業 竹中工務店が次代に伝える企業永続の道
最大たるより最良たれ—
株式会社竹中工務店 TQM推進室 編

(2)「タグチメソッドの探求—技術者の疑問に答える100問100答—」

宮川 雅巳、永田 靖 著

(3)「日常管理の基本 —トラブル・事故・不祥事の防止—」

中條 武志 著

2022年9月の入会者紹介

2022年9月14日の理事会において、下記の通り正会員11名、職域会員1名、賛助職域会員1名、公共会員1社1口の入会が承認されました。

（正会員11名）○齋藤 駿介（名古屋工業大学）○日原 一智（国際協力機構）○北村 弘（日本電気）○植田 敦子（ユニチカ）○上妻 賢司（フジキン）○松波 知典（損害保険ジャパン）○高濱 聡光（豊田自動織機）○茅野 真雄（慶應義塾横浜初等部）○黒田 育央（関西電力）○吉野 圭徳（富士フイルム）○花田 久仁紀（西部ダイワ工業）

（職域会員1名）

○坂田 浩二（神崎高級工機製作所）

（賛助職域会員1名）

○林 昌明（前田建設工業）

（公共会員1社1口）

○神奈川大学生活協同組合

名誉会員：22名

正会員：1705名

準会員：75名

職域会員：50名

賛助会員：154社226口

賛助職域会員：14名

公共会員：16口

行事案内

●JSQC規格「新製品・新サービス開発管理の指針」講習会

日時：2022年12月14日(水)13:30~17:30

会場：Zoomミーティング(オンライン)

講師：永原 賢造 氏

(プロセスマネジメントテクノ)

プログラム：

1. JSQC規格「新製品・新サービス開発管理の指針」制定のねらい
2. 新製品・新サービス開発管理の基本
3. 新製品・新サービス開発管理における重要なマネジメント活動の進め方
4. 新製品・新サービス開発管理のためのツール
5. 全体討論(質疑応答)

詳細・申込：https://jsqc.org/std22-001_2022/

事務局

JSQCホームページ：www.jsqc.org/

本部：166-0003

杉並区高円寺南1-2-1

日本科学技術連盟 東高円寺ビル内

E-mail：jimukyoku@jsqc.org

FAX：03-5378-1507

中部支部：460-0008

名古屋市中区栄2-6-1

RT白川ビル7階

日本規格協会 名古屋支部内

TEL：050-1742-6188

FAX：052-203-4806

E-mail：nagoya51@jsa.or.jp

関西支部：530-0003

大阪市北区堂島2-4-27

JRE 堂島タワー11階

日本科学技術連盟 大阪事務所内

TEL：06-6341-4627

FAX：06-6341-4615

E-mail：kansai@jsqc.org

会員登録情報 更新のお願い

会員登録情報は、学会ホームページから確認・修正変更することができます。

転勤や異動など会員登録情報に変更がありましたら、「会員データベース(会員専用ページ)」より更新してください。

各賞表彰

第52回通常総会において、第51年度最優秀論文賞1件、品質技術賞2件、品質管理推進功労賞5氏、Activity Acknowledgment賞1氏の授賞および表彰が行われました。

[第51年度最優秀論文賞]

『効果還元法と条件付き操作変数法を用いた総合効果の統合型推定量』

東川 知樹 氏(東京工業大学 工学院 経営工学系)

田口 千恵 氏(東京工業大学 工学院 経営工学系)

黒木 学 氏(横浜国立大学 大学院 理工学府)

宮川 雅巳 氏(東京工業大学 工学院 経営工学系)

「品質」Vol. 52, No.3, pp.37-49 (2022)

[第51年度 品質技術賞]

小茂田 岳広 氏(トヨタ自動車株式会社)

『若手品質管理屋の目

～品質管理の現場事例レポートとこれからの品質管理～』

著者：小茂田 岳広 「品質」Vol. 52, No. 3 pp.18-22 (2022)

岡田 俊 氏(株式会社LDD)

『中小企業のための新製品開発失敗原因分析手順の提案

—一つの事例を基に失敗原因を系統的に抽出する方法—』

著者：岡田 俊/中條 武志 「品質」Vol. 52, No. 3 pp.80-90 (2022)

[2022年度 品質管理推進功労賞]

阿部 祐子 氏 一般社団法人日本品質管理学会

新木 純 氏 積水化学工業株式会社

岡本 利雄 氏 一般社団法人中部品質管理協会

越井 信弥 氏 小松製作所株式会社

清水 貴宏 氏 パナソニックインダストリー株式会社

[第51年度 Activity Acknowledgment賞]

川上 裕大 氏(横浜国立大学)

教員公募

早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科

募集人員 教授(任期付)または准教授(任期付)1名

所属 早稲田大学大学院 創造理工学研究科 経営デザイン専攻

研究分野 経営デザイン分野の次の5領域のいずれかで教育・研究ができること

- (1) マーケット・顧客開発
- (2) 製品・サービス企画・開発
- (3) サプライチェーンマネジメント/ロジスティクスマネジメント
- (4) 生産マネジメント(調達・製造・販売)
- (5) 事業経営

着任時期 2023年9月21日(金)、またはそれ以降なるべく早く

応募締切 2022年12月20日(火)17時(日本時間)必着

詳細 早稲田大学 理工学術院 公募・採用

<https://www.waseda.jp/fsci/tag/recruiting/>

早稲田大学 教員公募

<https://www.waseda.jp/top/about/work/organizations/academic-affairs-division/faculty-recruitment>